

江戸川区角野栄子児童文学館  
2023年11月オープン!

魔法の丘で  
会いましょう!

Vol.3

絵：くぼしまりお 文：葛山あかね

角野栄子児童文学館の  
愛称と  
ロゴマークが  
決定しました!!



審査会を終えて、笑みがこぼれる角野栄子さんと角野さんが描いたうちわを持つ齊藤猛区長



## 愛称&ロゴマーク 審査会レポート

先日、江戸川区役所において「江戸川区角野栄子児童文学館」の愛称およびロゴマークの審査会が行われました。

審査員を務めたのは、**齊藤猛区長**、**蓮沼千秋**教育長、**福本光浩区議会議員**、**堀江創一**副議長、そして児童文学作家の**角野栄子さん**です。

まずは愛称について。審査会に先立ち、区のホームページで愛称を公募（6月1日～30日）したところ、689件もの応募がありました。頻出するワードは、「館」「文学館」「キキ」「いちご」「魔女」「魔法」そして「角野栄子」などが挙がりました。

審査員の皆さんからははじめに「イメージカラーであるいちごを名前にすると親しみやすい」「ご著書には『魔女の宅急便』の他、『小さなおばけ』シリーズなどもありますから、そうした世界観を盛り込んだ名前がいいのでは」など多様な意見が交わされます。



左から、齊藤区長、角野さん、蓮沼教育長、福本議長、堀江副議長

愛称の応募総数は  
689件！  
注目が集まっているね



### 角野栄子さん

「ここに来た子どもたちが、自分で本を選んで、自由にページをめくって読み、面白かったという気持ちをもって家に帰ってほしい。それこそが、この『文学館』の『魔法』だと思っています」

1935年東京生まれ。24歳からブラジルに2年滞在。その体験を元に書いた『レイジンニョ少年 ブラジルをたずねて』で、1970年作家デビュー。代表作『魔女の宅急便』は1989年にスタジオジブリ作品としてアニメーション映画化された。野間児童文芸賞、小学館文学賞等受賞多数。2018年国際アンデルセン賞作家賞を受賞。翌年、江戸川区区民栄誉賞を受賞。



# 魔法の 文学館

Kiki's Museum of Literature

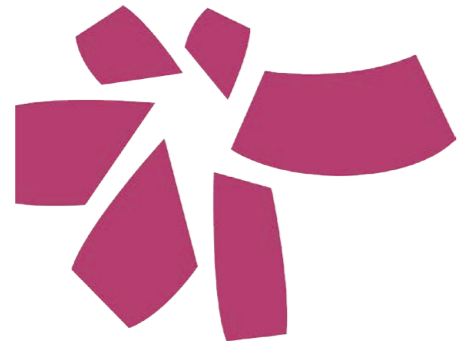
## 選考結果

### 〔愛称〕

角野さんからは「文学館に入ったときに、パッと広がるいちご色の世界に驚いてほしいので愛称にはつけないほうがいいかも。面白そうな感じがあるのはやっぱり『魔法』かしら。『文学館』とついているとアカデミックな雰囲気もありますね」

「確かに、本には魔法のような魅力がある。それに、ここには何があるんだろう、とワクワクした気持ちで子どもたちに訪れてほしい。そうした意味からも『魔法の文学館』がいいのでは」と齊藤区長。こうして最終的に愛称は「魔法の文学館」に決定。さらにグローバルな場になることが予想されるため、海外で知られる存在の「キキ」の名前を冠して、「Kiki's Museum of Literature」という英語名も使用するようになりました。

### 〔ロゴマーク〕



次はロゴマークについて。こちらは設計した隈研吾建築都市設計事務所による8案を候補に、ホームページで投票が行われました。投票総数は1252件。その中から投票数が多く、なおかつ親しみやすいものとして、上記のロゴマークに決定しました！ 児童文学館の建物を上から見たときのフラワールーフと、建物の周辺にツツジが鮮やかに咲き誇るイメージでデザインされています。

今回、投票数の多さからも、文学館に対する関心の高さがうかがわれました。

1年後のオープンまでもう少しお待ちください！



### 齊藤区長

「私自身、『魔法』という言葉を知ると、ワクワクとした気持ちになります。子どもから大人まで、ここには何があるんだろう、という気持ちをもっていただける『文学館』にしたいですね」



### 蓮沼教育長



### 福本議長



### 堀江副議長

可愛い模型がいっぱい。  
こんな本棚、  
見たことないよね!



実物大のモックアップを確認するくぼしまさん。  
横に並ぶと、そのサイズ感がよく分かる。



円形本棚やコリコの町の大階段を20分の1サイズに縮小して  
精密に再現。模型を見ているだけでもワクワクした気分!

角野さんが文学館の建設現場を視察に訪れました。訪問は昨年の施工開始前以来。建物の輪郭がはつきりと分かるまでになった現状に驚きながらも、興味津々の様子で中を進んでいきます。「このスペースは何になるの?」「奥行きはどれくらい?」「この板は何に使われるの?」先々でスタッフを質問攻めに。図面とともに詳しい説明を受けていた角野さん。視察終了後、「完成がとても楽しみ」と笑顔を見せていました。

## 角野栄子さん、 建設現場に行く!

館内に設置される机や本棚などの家具の準備も着々と進められています。手がけるのはクオリティーの高い空間やディスプレイを生み出す乃村工芸社。アートディレクターのくぼしまりおさんも製作現場にかけつけ、モックアップ(実物大の模型)や20分の1サイズの小さな模型を見ながら、本棚の色合いや形、手触りに至るまで一つ一つを丁寧に確認していました。角野栄子さんが求める、圧倒的ないちご色の世界を表現するための試行錯誤が続けられています。

## 館内を彩る いちご色の本棚たち



現場を見終えて、建物の前に立つ角野さん。



スタッフに案内されて現場を視察。時折設計図と現場の状況を見比べながら、説明を受ける。



「ここがコリコの町の大階段ね」と、その足場の感触を確かめるように一段一段ゆっくりと上る。



江戸川区角野栄子児童文学館の公式Instagramでは、  
児童文学館の工事進捗や角野さんの主な書籍などをご紹介しています。  
フォローして最新情報をチェックしよう!

公式アカウントはこちら→



ACCESS  
DATA

総合レクリエーション公園(なぎさ公園)  
所在地: 江戸川区南葛西7-3-1  
アクセス: 東京メトロ東西線「葛西駅」からバス10分  
(バス停「南葛西第二小学校前」下車後 徒歩5分)

今  
後  
の  
情  
報  
は  
こ  
ち  
ら  
ら  
か  
ら

江戸川区角野栄子児童文学館ホームページ  
<https://www.city.edogawa.tokyo.jp/e081/kuseijoho/keikaku/bungakukan/index.html>  
公式Instagram 江戸川区角野栄子児童文学館  
[https://www.instagram.com/edogawacity\\_kadonoeko/](https://www.instagram.com/edogawacity_kadonoeko/)  
KADOKAWA文芸WEBマガジン「カドブン」  
<https://kadobun.jp/special/kadonoeko/>